


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価スコア: CASBE:建築(新築)S造, CASBEE:建築(新築)S造, CASBEE:建築(新築)S造  
 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016v2.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人茶舞会(仮称)寄居町	階数	地上2F
建設地	埼玉県大里郡寄居町大字寄居字中	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域指定無し	平均居住人員	30人
地域区分	S地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	評価の実施日
竣工年	2020年3月	作成者	栗木
敷地面積	1,872㎡	確認日	2019年3月18日
建築面積	1,217㎡	確認者	大沢
延床面積	2,195㎡		
			

**2-1 建築物の環境効率率(BEEラック&チャート)** **2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート** **2-3 大項目の評価(L-ゲージチャート)**

**BEE = 1.2** ★★★★★ A★★★★ B:★★★ C:★  
 S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★ C:★

**BEE = 1.0** ★★★★★ A★★★★ B:★★★ C:★

**30%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 100%:☆☆☆☆☆ 100%超:★**

**稼働計算**  
 ①参照値  
 ②建築物の取組み  
 ③上記+②以外の  
 ④上記+

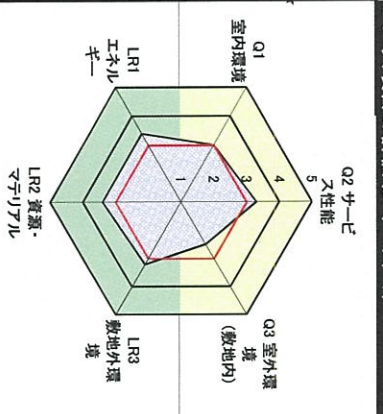
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べてライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したものです。

100% 83% 83% 83%  
 0 46 92 138 184  
 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

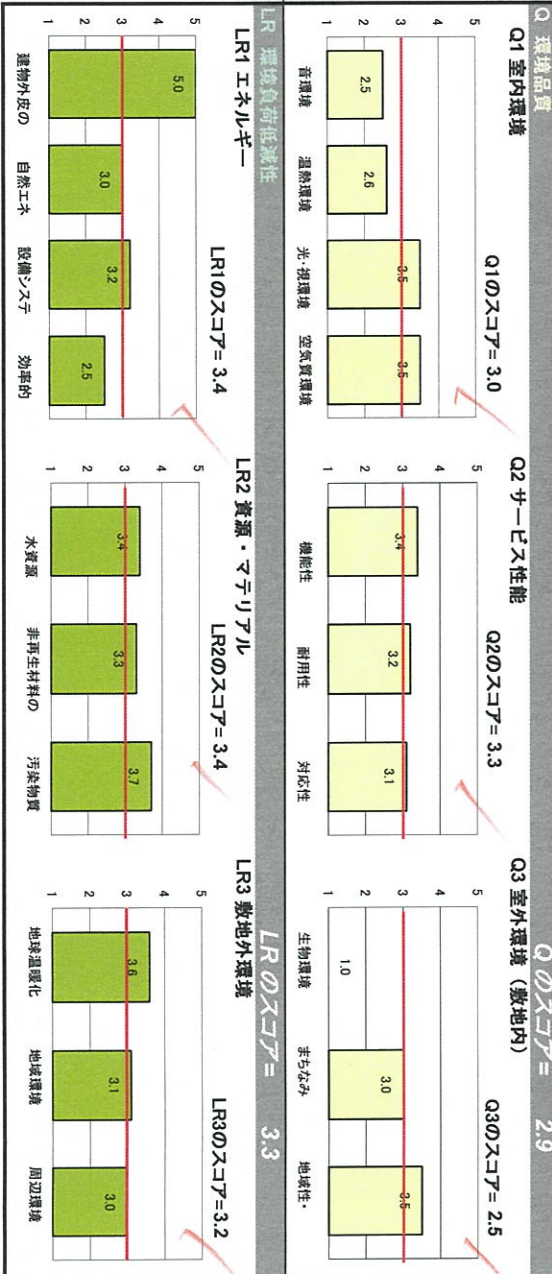
Q1 室内環境  
 Q2 サービエ性能  
 Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー  
 LR2 資源・マテリアル  
 LR3 敷地外環境

環境負荷 L



**2-4 中項目の評価(バーチャート)**



**3 設計上の配慮事項**

**総合**  
 建物形状を、高さ方向でなく横方向に取るように計画し、周辺地域への圧迫感、景観の阻害が無い様にしていく。  
 色彩もアースカラーを基調とし、周辺地域の景観を損ねないようにしている。

Q1 室内環境	Q2 サービエ性能	Q3 室外環境(敷地内)
窓を適切に配置し、自然光を取り入れ昼光量の向上、また建物内は、全面禁煙とし、非喫煙者が影響を受けない対応、室内環境の向上に努めた。建築材料には、全体的にF☆☆☆☆を採用し、室内環境に配慮した。	個室の広さ、天井高さも十分確保し、入居者に使いやすい施設であるとともに、職員動線にも配慮した計画とした。またコンクリート壁を無くし、壁紙を壁紙を抑え、更新性に配慮した。	建物周囲に緑地や駐車場を配置し、周辺地域への圧迫感を軽減した。また、通風への配慮、熱環境の向上を目指した。外観を落ち着いた色調として昼光の反射によるグレアなどに配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷(低減性))、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配属項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境						0.40	-	-	-	3.0
1 音環境						2.6	0.15	2.4	1.00	2.5
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	2.7	0.40	
1				開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2				界壁遮音性能		3.0	0.60	2.0	0.30	
3				界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4				界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1				室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2				外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3				ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・植環境						3.4	0.25	3.6	1.00	3.5
3.1 屋光利用						3.6	0.30	2.4	0.30	
1				屋光率		4.0	0.60	2.0	0.60	
2				方位別開口		3.0	-	-	-	
3				屋光利用設備		4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グリーン対策						4.0	0.30	4.0	0.30	
1				屋光制御		4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境						3.6	0.25	3.3	1.00	3.5
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1				化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	2.3	0.38	
1				換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2				自然換気性能		1.0	-	3.0	0.33	
3				取り入れ外気への配慮		5.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1				CO <sub>2</sub> の監視		5.0	-	-	-	
2				喫煙の制御		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.1	0.40	4.2	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1				広さ・収納性		-	-	5.0	1.00	
2				高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-	
3				バリアフリー計画		3.0	0.30	3.0	0.40	
1.2 心理性・快適性						3.0	-	3.0	0.50	
1				広さ感・景観		3.0	1.00	-	-	
2				リノベーション		3.0	-	3.0	0.50	
3				内装計画		3.0	0.30	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1				維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2				維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1				耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2				免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.5	0.30	-	-	
1				躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2				外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3				主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4				空調換気ダクトの更新必要間隔		4.0	0.10	-	-	
5				空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6				主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1				空調・換気設備		4.0	0.20	-	-	
2				給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
3				電気設備		3.0	0.20	-	-	
4				機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5				通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	
				個別運転が可能な空調・換気設備 節水型器具の採用、給水管の系統区分、受水槽に水栓 構内PHS、有線電話、電話交換機の1階EPS内設置						

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	共用部 壁長さ比=0.198 個室 壁長さ比=0.13	3.2	0.30	2.9	1.00	3.1	
		2 空間の形状・自由さ		2.0	0.60	2.0	0.60		
	3.2 荷重のゆとり	1	3.0	0.40	4.0	0.40	4.0	0.40	
		2	3.0	0.30	3.0	0.30	3.0	0.50	
		3	3.8	0.40	3.8	0.40	3.8	0.50	
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	天井スペース、EPSの確保がされている 天井スペース、EPSの確保がされている 受水槽、給水ポンプ屋外設置、空調室外機バルコニー、屋上設置 屋上に空調室外機設置スペース確保	3.0	0.20	3.0	0.20	-	
		2 給排水管の更新性		3.0	0.20	3.0	0.20	-	
		3 電気配線の更新性		5.0	0.10	5.0	0.10	-	
		4 通信配線の更新性		5.0	0.10	5.0	0.10	-	
		5 設備機器の更新性		4.0	0.20	4.0	0.20	-	
6 ハットアップスペースの確保		4.0		0.20	4.0	0.20	-		
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出									
2 まちなみ・景観への配慮									
3 地域性・アメニティへの配慮									
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									
3.2 敷地内温熱環境の向上									
LR 建築物の環境負荷低減性									
LR1 エネルギー									
1 建物外皮の熱負荷抑制									
2 自然エネルギー利用									
3 設備システムの高効率化									
4 効率的運用									
集合住宅以外の評価									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
集合住宅の評価									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・エネルギー									
1 水資源保護									
1.1 節水									
1.2 雨水利用・雑排水等の利用									
1 雨水利用システム導入の有無									
2 雑排水等利用システム導入の有無									
2 非再生性資源の使用量削減									
2.1 材料使用量の削減									
2.2 既存建築躯体等の継続使用									
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用									
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用									
2.5 持続可能な森林から産出された木材									
2.6 部材の再利用率向上への取組み									
3 汚染物質含有材料の使用回避									
3.1 有害物質を含まない材料の使用									
3.2 フロン・ハロンの回避									
1 消火剤									
2 発泡剤(断熱材等)									
3 冷媒									
LR3 敷地外環境									
1 地球温暖化への配慮									
2 地環境への配慮									
2.1 大気汚染防止									
2.2 温熱環境悪化の改善									
2.3 地域インフラへの負荷抑制									
1 雨水排水負荷低減									
2 汚水処理負荷抑制									
3 交通負荷抑制									
4 廃棄物処理負荷抑制									
3 周辺環境への配慮									
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									
1 騒音									
2 振動									
3 悪臭									
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制									
1 風害の抑制									
2 砂塵の抑制									
3 日照阻害の抑制									
3.3 光害の抑制									
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策									
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策									











# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェア

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要			
建物名称	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会(仮称)アクトシティ埼玉南地区庁舎	BEE	1.2
		BEEランク	★★★

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア			
3.6	+	2.3	= 5.9
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上
	 	  	   

## 3 重点項目についての環境配慮概要

### (1) ライフサイクルCO2の削減

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

スコア平均 3.6

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.6

建物周囲に緑地や駐車場を配置し、周辺地域への圧迫感を軽減した。また外観を落ち着いた色調として屋光の反射によるグレアなどに配慮した。

### (2) 緑の保全・創出

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

スコア平均 2.3

Q3 室外環境(敷地内)  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR3 敷地外環境

1. 生物環境の保全と創出  
3. 2 敷地内温熱環境の向上  
2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 1.0  
スコア 3.0  
スコア 3.0

隣地境界に沿って、緑地を整備し、植栽帯を設けた。また、採光、通風に配慮し、熱環境の向上を目指した。

: 入力欄